

ラブ・ボックス受付開始！

今年の感謝祭も、メトロ・ニューヨークの子どもたちとその家族のために、ごちそうの詰まった「ラブ・ボックス」を届けます！

1口7,800円で、子どもとその家族が感謝祭と一緒に祝うための「ラブ・ボックス」を1箱プレゼントできます。

感謝祭は、アメリカの人々にとって特別な連休になります。家族や親戚が集まってごちそうを囲み、国全体がお祝いムードに包まれる時です。

しかし、メトロの関わる家庭の子どもたちにとっては、いつもと同じ毎日です。お祝いムードの盛り上がる環境の中で、自分たちだけが取り残されたような格差を実感するつらい日でもあります。

メトロの子どもたちが楽しい感謝祭を迎えるために、ニューヨークのお腹を空かせた子どもたちとその家族に、一家族でも多く「ラブ・ボックス」を届けられるよう、ご支援をお願いいたします。皆様の上に神の祝福がありますように！

※対象は、アメリカの子どもですが、どなたでもご参加いただけます。プレゼントは、ご支援いただいているアメリカの子どもに最初に渡します。同封のお申込用紙をご確認のうえ、ご支援をお願いいたします。



今年の目標は800世帯！

締め切りは10月5日(日)

「ラブ・ボックス」の中身は？

それぞれの箱には、感謝祭用の食料品がセットされています。

例えば、七面鳥、缶詰の野菜や果物、米やパスタ、クランベリーソース、マカロニ&チーズ、豆、ジュースなどです。

無理のない範囲で結構ですのでご支援を検討いただければ幸いです。



口座引き落としの方へ！

8月は、私どもの手配ミスで引き落としできず、大変申し訳ございませんでした。

8月分と9月分の合計金額が、9月29日(月)に引き落とされますので、前日に残高をご確認ください。

今月号の目次

P2～3…ビル師からのメッセージ／

メトロの現在の状況

P4…日本事務所から大切なお知らせ



感謝の心

毎年行っている「ラブ・ボックス」キャンペーンは、私にとってとても個人的な意味を持っています。メトロでは、もし子どもが空腹のまま日曜学校に来ることがあれば、すぐに手を止め、その子がお腹いっぱい食べられるよう、あらゆる手を尽くしています。

しかし感謝祭では、何千人もの子どもたちとその家族に「ラブ・ボックス」と地域での食事会を開催するために、私たちはさらに力を入れています。子どもたちが家族を感謝祭のディナーに招待できる機会は、とても大切なことなのです。

これは私たちの年間を通じた活動の中でも最大規模のものであり、神の恵みと、あなたのようなスポンサーや協力者の思いやりがあってこそ実現できています。

今年も、この子たちにとって意味のある祝日となるよう、ご協力いただきありがとうございます。あなたとご家族が感謝を捧げ合うとき、神の恵みがいつもありますように。

Bill

神は山の神だけでなく、谷の神でもある。

——ビル・ウィルソン師 Facebook より

「そのとき、ひとりの神の人がイスラエルの王のもとに来て言った、『主はこう仰せられる。アラムびとが「主は山の神であって、谷の神ではない」と言ったので、わたしはこの大いなる群衆をことごとく、あなたの手に渡そう。そしてあなたがたは、わたしが主であることを知るであろう』」（1列王記20章28節）



ハイチの街中ではギャングと戦い、ドミニカ共和国では人身売買業者と、ナイジェリアではボコ・ハラムと、ガザではハマスと、ベルゴロドではロシア人と、その他にも...

だから私は、敵には常に警戒していると思われがちですし、実際、その通りです。

毎週のサンデースクールで、参加する子どもたちの数が200万人という節目を迎えようとしている今、本当にたくさんの人々がメトロに加わりたいと願っています。この熱意は尋常じゃありません。扉が開くだけでなく、蝶番が吹き飛ぶ勢いで道が開かれています。だから常に周囲に気を配っているだろうと思われがちです。

ところが、アフリカのコートジボワールにあるアビジャン空港に着いたばかりの時、手荷物受取所で、もう戦いが始まっていました。敵が待ち構えていたのです。そして、私は戦

いから決して逃げない男です。

ある教団が、全国規模でメトロ方式の教会学校を立ち上げるのを手伝えるためにそこへ向かったのです。いくつかのフランス語圏の国々が研修を受けることになっていました。彼らには大きなビジョンがあり、それが簡単な道程ではないと分かっていた。しかし、ターミナルから出る前に、すでに戦いは始まっていたのです。結局、私は足に、ひどい内出血と、深い傷を負ってしまいました。

5日目には、まずいことになったと気づきました。感染症を起こし、膿が溜まってふくらはぎの色が変わっていたのです。次の予定はカイロだったので、無理してそのまま向かいました。「そこならもっと良い治療を受けられるかもしれない」と思ったのですが、それは間違いでした。

いわゆる「まともな」エジプトの病院に3日間いて、その病院は、彼らが言うほどいい病院ではないことがわかりました。感染症は急速に悪化し、足や足の指まで色が変わり、ほとんど歩けなくなってしまったのです。敵が迫ってきているのが分かりました。



神は山の神だけでなく、谷の神でもある。

——ビル・ウィルソン師 Facebook より

この状態でニューヨークには飛んで帰れないし、選択肢が尽きて、もはやどうしようもありませんでした。

そんな時、一人の神の人が私に連絡をくれました。そして彼はこう言ったのです。「あなたを飛行機で移送しますので、私たちのところに来てください。良い病院に、素晴らしい医者がいますから」。私は断ろうとしました。迷惑をかけたくなかったのです。しかし、彼は受け入れず、私の傷の写真を見て、こう言いました。「私たちはあなたをエジプトから、ビッグマックとコークゼロがあふれる土地に連れて行きます」。私は、そうすべきなのだと分かりました。

神の恵みと人々の思いやり

再び、神の恵みと、神の人々の思いやり、そして外科医の腕のおかげで私は助かりました。3cmの切開手術を2か所行って血栓を取り除き、膿を出してもらいました。ふくらはぎと足に2つの「くぼみ」ができましたが、これ以上痛々しい詳細は控えておきましょう。この混乱が始まってから、すでに半月以上経ちました。手術室に車椅子で運ばれて行く時、



頭にネットを被った私の心に、聖霊がⅠ列王記20章28節の御言葉を思い出させてくれました。以前、この箇所から説教したことがありましたが、今、私はそれを体験しています。

私はどんな種類の戦いにも慣れていますが、敵は常に周りにいて、攻撃する準備を整え、苦痛、疑い、破壊を待っている準備を整えているのです。しかし、ここが重要なポイントです。「神は山の神だけではなく谷の神でもある」のです。時には、谷底でこそ、神の存在が今までにないほど強く現されるのです。そうです。勝利は心地よいが、谷に直面してもショックを受けないことです。「楽だったのは昨日まで」と感じて、動揺してはいけません。なぜなら、谷の中にも、神は神として存在しておられるからです。そして、私たちの献身は、私たちの感情よりも強くなければなりません。私たちは進まなければなりません。次の山の頂が待っているから、進み続けるのです。

メトロの教会学校は今、200万人の子どもたちの参加が目前になっています。病院のベッドにいてもそれが分かります。私の進路は定まり、帆は上がりました。ビリー・グラハムか、あるいはトム・ハンクスだったか、『キャスト・アウェイ』のトム・ハンクスだったかもしれないが、「潮が何をもたらすか、決して分からない」と言ったのを思い出す。

だから、私はここに座ってこれを書き、学び直し、思い出し、そして子どもの頃、最前列に座って歌った歌を口ずさん

でいます。

“これが私の証し 私の歌 いつも主を賛美する”

だから今、あなた自身が病院のベッドや谷底にいると感じている皆さん、進み続けましょう！なぜなら、あなたは次の山の頂上へと近づいているのだから。

この時が私にとってそうであったように、あなたにも、私たちの神は山の神だけでなく、谷の神でもあることを思い出させてくれますように。

だから、ともにイエス様の御名によって前に進み続けましょう。なぜなら、敵は私たちにはかなわないからです！

ビル・ウィルソン



メトロの教会学校の働きは、驚異的なスピードで成長しています。また、アフリカや発展途上国に留まらず、アメリカのニューヨークやその他の国でも、メトロの教会学校が、学校の授業の一環として採用されるケースが増えています。

さらに、ガザ地区の働きに代表される、公に発表されていない、危険な場所、宗教的な規制の多い国での働きも拡大し続けています。

子どもたちはもちろん、スタッフが守られて働きが進められるように、お祈りをお願いいたします。

また、メトロが支援する子どもたちの数も増え続けています。スポンサーになってくださる方を常に募集していますので、周りの方々にもお勧めいただければ助かります。

ご支援の内容はこちらをご覧ください。

<https://metroworldchild.jp/metrogenerallp/>



日本事務所からの重要なお知らせとお願い

祈りの輪！

皆さんの祈りは本当に力となります！私たちと一緒に、以下のことについてお祈りください。

- ・世界中の子どもたち、家族、宣教師たちの健康と安全のために。
- ・食べ物や住居、親の仕事など、基本的なニーズに対する神のご配慮があるように。
- ・より多くの子どもたちがイエス様の愛と希望に触れられるように。
- ・より多くの子どもたちに福音を届けるための、トラックや機材が与えられるように。
- ・ビル牧師が常に健康で力を得、その言葉が神に祝福され、安全が守られるように。

アーメン！ ありがとうございます。

現在開催中のキャンペーン！

現在行っているキャンペーンは、アメリカのラブ・ボックス（感謝祭）です。食料品その他のご支援は常時受け付けています。

・アメリカのラブ・ボックス：10月5日（日）締切

また、ご支援いただいています子どもの誕生日の前月には、お知らせの手紙を同封しますので、必ず開封して中をご確認ください。ご自身の状況に合わせてプレゼントをお考えいただければ幸いです。子どもの数は非常に多いので、早めにお申し込みいただければ助かります。

口座引落手続きをされている方は、翌月のお引き落としに加算することもできます。

お引落日は、お申し込み日の翌月です。

<https://metroworldchild.jp/gift/>



！ スポンサー募集中です！

メトロのかかわる子どもの数は、もうすぐ200万人に達する勢いです。それに伴い、サポートの必要な子どもの数も、飛躍的に増えています。新規スポンサーを常時募集していますので、よろしく願いいたします。

政治不安や戦争で、世界中の物価は急激に上昇しています。メトロの活動している地域では、以前から食事をまともに食べることができない子どもがたくさんいましたが、今はさらに深刻な状況です。私たちは、一人でも多くの子どもにスポンサーを見つけようと手を尽くしています。どうぞ、身近な方々にメトロをご紹介ください。

メトロ紹介&申込サイト⇒

<https://metroworldchild.jp/metrogenerallp/>



日本事務所よりごあいさつ！

残暑が厳しいとは言え、すでに2学期も始まり、生活のパターンも元に戻っていることと思います。

ビル先生のけがのためにお祈りくださった皆様、ありがとうございます。順調に回復に向かっています。その間にも、メトロの教会学校の参加者はすでに170万人を超え、すぐに200万人に達しようとしています。昨年から1年も経たないうちに、倍増したことになります。

この驚くべき成長を牽引してくださる神に感謝を捧げるとともに、この働きを変わず支えてくださる皆様に心からの感謝を申し上げます。スタッフのやる気や勢い、人間的力では、とても支えられない規模に成長しました。これからも、次世代を担う子どものために尽力し、世界にリバイバルの土壌を築いていきたいと願います。

皆様の上にも、主キリストの驚くべき祝福と、力強い守りがございますようにと祈ります！

日本事務所代表 万代栄嗣(まんだい えいじ)



メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座5-14-6

橋ビルⅡ7階 TFC内

電話 03-6264-7370（松山事務所 089-992-9020）

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

URL <https://metroworldchild.jp/>



すべてのお振り込みは、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン